

学会・研修会の参加と開催

学会・研修会の参加と開催

I. 学会発表及び演題数

年 月	学 会 名	開 催 地	演 題 数
平成 6 年 7 月	衛生微生物技術協議会第15回研究会	山 形 市	3
平成 6 年 8 月	第47回日本温泉科学会大会	石 川 県	1
平成 6 年 10 月	第42回日本ウイルス学会総会	東 京 都	1
平成 6 年 10 月	第53回日本公衆衛生学会総会	鳥 取 市	1
平成 6 年 10 月	1994年度日本地球化学会年会	名 古 屋 市	1

II. 調査・研究業務発表会

県の福祉保健部・生活環境部・農政部等の関係機関との情報交換及び専門的な意見交換を目的に、平成3年度より開催している。

名 称：第5回 衛生科学研究所調査研究業務発表会

日 時：平成7年6月28日（水）10：00～15：00

会 場：秋田県総合保健センター第1研修室

1. 小児期からの成人病予防に関する調査研究
 - －中学生の健康調査における成績と課題について－
 - ◎ 石田あや子 高桑克子 佐藤道子 柴田則子 勝又貞一
2. 小児期からの成人病予防に関する調査研究
 - －中学生における肥満状況と生活習慣・食習慣との関連について－
 - ◎ 柴田則子 高桑克子 佐藤道子 石田あや子 勝又貞一
3. 成人病予防対策の手法に関する調査研究
 - －飲酒、喫煙習慣及び肥満状況と診断所見との関連について－
 - ◎ 高桑克子 佐藤道子 柴田則子 石田あや子 勝又貞一
4. 県内環境放射能の水準に関する調査研究
 - －食品中の⁹⁰Srと¹³⁷Csについて－
 - ◎ 村上恭子 杉野哲 武藤倫子 沢部光一（秋田保健所）
5. 温泉の浴用効果に関する医学的調査研究
 - －人の浴用調査について－
 - ◎ 武藤倫子 村上恭子 杉野哲 沢部光一（秋田保健所）
6. 水道水に係わるCNP調査について
 - ◎ 大谷裕行 松尾無子（生活センター）
7. 衣料品のホルムアルデヒド含有量について
 - ◎ 高橋佐紀子 村上恭子 大谷裕行
8. 平成2～6年度の県内におけるインフルエンザウイルスの流行予測について
 - ◎ 原田誠三郎 田中恵子 斎藤博之 佐野健
9. 平成5年度・平成6年度のポリオ流行予測調査結果について
 - ◎ 田中恵子 原田誠三郎 斎藤博之 佐野健
10. 下痢原性大腸菌による散発下痢症及び食中毒事例について
 - ◎ 八柳潤 斎藤志保子 佐野健

Ⅲ. 技術指導及び研修

1. 研修会・講演への講師派遣

年 月	主 催	講 演・研 修 内 容	対 象・参 加 人 員	担 当 者・講 師
平成6年7月	秋田県栄養士会	「輸入食品の安全性」	栄養士 120名	所 長
〃 7月	県 消 防 学 校	「放射線と放射能」	初任消防職員 82名	理化学部 松 田
〃 8月	県 福 祉 保 健 研 修 セ ン タ ー	「感染症とその対策について ―特に老人を中心に―」	市町村等老人福祉保健 担当職員、老人福祉保 健施設職員 100名	所 長
〃 8月	飯 田 川 町	「コレステロール教室」 ―小児期の健康管理について―	小学生と親 40名	生活科学部 高 桑
〃 9月	県 福 祉 保 健 研 修 セ ン タ ー	社会福祉施設給食担当職員研修 ―栄養所要量の改定について―	調理師・栄養士等 124名	生活科学部 石 田
〃 10月	農業協同組合 農 村 医 学 会	第35回農村における健康を考える集い ―食生活から見た骨粗鬆症について―	一般住民 450名	生活科学部 高 桑
〃 11月	秋 田 ゾ ン タ ク ラ ブ	「女性の更年期の成人病予防について」 ―県内の調査結果から―	女性市民 150名	生活科学部 高 桑
平成7年2月	埼 玉 県 衛 生 研 究 所	「感染症サーベイランスは何をもたら したか? ―秋田における感染症と 病原微生物の動向―」	埼玉県衛生研究所職員 40名	所 長
〃 2月	大 館 保 健 所	「感染症とつづが虫病」	第4回大館・鹿角地域 健康推進大会参加者 200名	所 長

2. 医学生実習

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	2	2	2	1	0	1	2	3	1	2	2	1	19
対象人数	10	10	10	6	0	6	10	15	5	10	10	5	97

3. 保健所試験検査担当者研修

日 時：平成7年2月27日（月）～2月28日（火）

場 所：衛生科学研究所研修室及び総合保健センター第2研修室

月 日	研 修 項 目	対 象・参 加 人 員	担 当 部・課・室
2月27日	講演（食品を取り巻く最近の諸問題について） 講義・実習（レジネオラ菌について） 視察（電子顕微鏡による微生物形態観察について） 実習（日立G5000型ガスクロマトグラフの 特徴と取り扱いについて）	両 担 当 者 17名 細 菌 担 当 者 9名 〃 理 化 学 担 当 者 8名	企 画 調 整 室 微 生 物 部 〃 理 化 学 部
2月28日	講義・実習（レジネオラ菌について） 講義（SRVの研究の現状と検査状況について） 実習（レジネオラ菌について） 実習（キャピラリーガスクロマトグラフを用いた食品 及び環境試料の分析法について） 伝達講習（理化学関係の学会及び講習会等） 総合討論	細 菌 担 当 者 8名 〃 〃 理 化 学 担 当 者 9名 〃 両 担 当 者 17名	微 生 物 部 〃 〃 理 化 学 部 〃 企 画 調 整 室